

上位チーム実力均衡

最優秀選手は金子君(鎌田)

第三十回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップは二十日、攻撃力に勝った鎌田が優勝して閉幕した。新人戦らしく粗削りながら、各チームはバス中心の組織的な展開や個人技主体の奔放な攻めなど、個性あふれる戦いぶりを見せた。



鎌田は1試合平均4点強の得点力が光った。「サイドを広く使った展開(縦横純二監督)を目指し、一般規格コートを使った大会二日目を普通

勝を一点差で制した状況

最優秀選手の金子君(左)と優秀選手の菅井君

段通りの戦いを徹底した。ドリブル主体の堀尻広丘との決勝は、チームカラーが好対照で風吹かせる試合となった。最優秀選手白田に輝いたW金子奇杜君に前線に託されたことが強みとなった。今大会も例年同様、上位チームの実力が均衡した。準決勝までの6試合のうち4試合が接戦で、準々決勝をPK戦、準決勝を一点差で制した状況

大会関係者は「大会の今村正義監督は「このチームも差がなかった」と振り返った。1回戦でPK戦が5試合ある試合となった。最優秀選手白田に輝いたW金子奇杜君に前線に託されたことが強みとなった。選手個々の能力が高まり、各試合で丁寧にボールを回して攻撃を組み立てる意識の高まりが見られた。大会関係者は「大会を振り返った。」

▽準々決勝

場尻広丘 4-3 K 白鳥南

鎌田 4-2 0 0 0 堀尻

永明 2-0 0 1 桐花

▽準決勝

トッパ 1-0 0 0 リュン

ストリー 0-0 0 0 オ野

▽3位決定戦

鎌田 4-3 1 0 ストリー

永明 4-3 1 0 ストリー

30回目の優勝を果たした鎌田サッカースポーツ少年団

2位の場尻広丘サッカークラブ

3位の永明FCスポーツ少年団